

れいわ ねんど
令和8年度
きゅうかんこうじ せこうかんり ぎじゅつけんてい
2級管工事施工管理技術検定
だいいちじけんてい ぜんき しけんもんだい
第一次検定(前期)試験問題

つぎ ちゅうい よ かいとう
次の注意をよく読んでから解答してください。

ちゅうい
【注意】

- これは第一次検定の試験問題で、表紙とも10枚あります。
HBの鉛筆又はシャープペンシルで、解答用紙(マークシート)に試験地、氏名、受験番号を記入してください。
受験番号は該当する数字をぬりつぶしてください。(万年筆・ボールペンの使用は不可)
解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。

かいとうようし きにゅうれい
解答用紙記入例

問題番号	解答記入欄			
No. 1	●	②	③	④
No. 2	①	②	③	●
No. 49	①	●	●	④

- 問題番号No. 1～No. 6は全問解答してください。
問題番号No. 7～No. 23のうち9問を解答してください。(10問以上を解答すると減点)
問題番号No. 24～No. 28は全問解答してください。
問題番号No. 29～No. 38のうち8問を解答してください。(9問以上を解答すると減点)
問題番号No. 39～No. 48のうち8問を解答してください。(9問以上を解答すると減点)
問題番号No. 49～No. 52は施工管理法(基礎的な能力)の問題です。全問解答してください。
- 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。
- この問題用紙の余白は、計算等に使用しても差し支えありません。
- 解答用紙は、試験監督者に直接提出してから退室してください。いかなる場合でも持ち帰りできません。
- 試験問題は、試験終了時刻(12時40分)まで在席した方で、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室者は、持ち帰りできません。

※ 問題番号 No. 1 から No.48 までの問題の正解は、1 問について一つです。
当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を一つぬりつぶしてください。
1 問について、二つ以上ぬりつぶしたものは、正解となりません。

※ 問題番号 No. 1 から No. 6 までの 6 問題は必須問題です。全問題を解答してください。

【No. 1】 光化学スモッグの発生要因となるものとして、適切なものはどれか。

- (1) 一酸化炭素
- (2) 二酸化炭素
- (3) 窒素酸化物
- (4) 水蒸気

【No. 2】 水平な円管の直管部を流れる流体について、次の「流体の密度」と「流速」の組合せのうち動圧が最も大きくなるものとして、適切なものはどれか。

[流体の密度 (kg/m^3)] [流速 (m/s)]

- (1) 1.1 ————— 1.4
- (2) 1.2 ————— 1.3
- (3) 1.3 ————— 1.2
- (4) 1.4 ————— 1.1

【No. 3】 湿り空気に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

ただし、湿り空気の全圧力は一定とする。

- (1) 空気中に含むことのできる水蒸気量は、乾球温度が高くなると多くなる。
- (2) 飽和湿り空気は、その乾球温度では、それ以上水蒸気を含むことができない。
- (3) 相対湿度が同じ場合、絶対湿度の低い湿り空気のほうが露点温度が高い。
- (4) 飽和湿り空気の乾球温度と湿球温度は等しい。

【No. 4】 次のうち、室内環境しつないかんきょう に関係かんけいのないものはどれか。

- (1) 予想平均申告よそうへいきんしんこく (PMV)
- (2) 化学的酸素要求量かがくてきさん そようきゅうりょう (COD)
- (3) 不快指数ふかいしすう
- (4) ホルムアルデヒドの量りょう

【No. 5】 電気設備工事でんきせつびこうじ に関する記述きじゆつのうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) キュービクルは、受変電機器等じゆへんでん ききとうを金属製の箱きんぞくせい はこに収めたものである。
- (2) ケーブルラックは、はしご形がたやトレー形等がたとうのケーブル支持材しじぎである。
- (3) レースウェイは、一般的に、倉庫いっぼんできや機械室等そうこ きかいしつとうで照明器具しょうめいきぐの取付けと配線等とりつ はいせんとうに使用する。
- (4) ヒューズは、溶断ようだんしたものでも繰り返し使用く かわ しようできる。

【No. 6】 鉄筋コンクリート造てつきんに関する記述きじゆつのうち、**適当でないもの**はどれか。

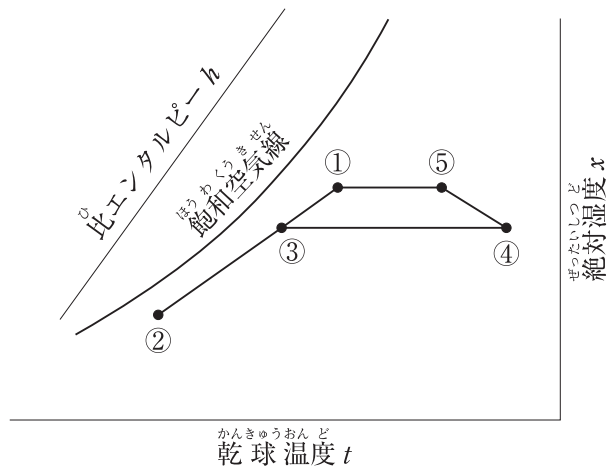
- (1) 水セメント比みずが大きくなると、コンクリートの圧縮強度あしゆくきやうどは高くなる。
- (2) 鉄筋てつきんは、異形棒鋼いけいぼうこうのほうが丸鋼まるこうよりもコンクリートに対する付着性たい ふちやくせいがよい。
- (3) コンクリートの打設後だせつご、硬化中こうかちゆうのコンクリートには、振動及び外力しんどうおよ がいりよく くわを加えないようにする。
- (4) コンクリートは、打設後だせつご、所定の強度しよてい きやうどを発揮するまで、十分に湿潤状態はっき じゅうぶん しつじゆんじやうたい たもを保つ。

※ 問題番号 No. 7 から No.23 までの 17 問題のうちから 9 問題を選択し、解答してください。

【No. 7】 空気調和方式に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) ファンコイルユニット・ダクト併用方式は、空調対象室毎の温度調整が可能である。
- (2) 定風量単一ダクト方式は、ファンコイルユニット・ダクト併用方式に比べて、空気調和機の送風量が小さくなる。
- (3) ファンコイルユニット・ダクト併用方式は、一般的に、空調対象室内にファンコイルユニットが設置されるため、ファンコイルユニット及び水配管からの水損リスクがある。
- (4) 定風量単一ダクト方式は、空気調和機で処理した空気をダクトにより、一定の風量で空調対象室内に送風する。

【No. 8】 下図に示す定風量単一ダクト方式における湿り空気線図に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**



- (1) 図は、暖房時の状態変化を示したものである。
- (2) 室内空気の状態点は、①である。
- (3) 導入外気の状態点は、②である。
- (4) 空気調和機出口空気の状態点は、③である。

【No. 9】 冷房時の熱負荷に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 外壁からの熱負荷は、太陽日射の影響も考慮する。
- (2) OA 機器による熱負荷は、顕熱である。
- (3) 構造体の空気層は、熱通過率に影響を与えない。
- (4) 窓ガラス面からの熱負荷は、ブラインドの有無を考慮する。

【No. 10】 定風量単一ダクト方式のユニット形空気調和機を制御するために必要な自動制御機器のうち、**関係のないもの**はどれか。

- (1) 電動三方弁
- (2) フロートスイッチ
- (3) 温度調節器
- (4) 湿度調節器

【No. 11】 温水暖房における膨張タンクに関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 密閉式膨張タンクを用いる場合は、配管系が異常に圧力上昇することを防止するために安全弁を設ける。
- (2) 開放式膨張タンクは、配管系のエア抜きとしても利用できる。
- (3) 密閉式膨張タンクは、開放式膨張タンクに比べ、設置場所の制限が少ない。
- (4) 開放式膨張タンクにボイラーの逃がし管を接続する場合は、その途中に保守用の仕切弁を設ける。

【No. 12】 パッケージ形空気調和機に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) ガスエンジンヒートポンプ式は、一般的に、暖房時にガスエンジンの排気ガスや冷却水の熱を有効利用している。
- (2) マルチパッケージ形は、1台の屋外機で複数台の屋内機を接続することができる。
- (3) ガスエンジンヒートポンプ式は、ガスエンジンで発電した電力を利用して圧縮機用電動機を駆動する。
- (4) 圧縮機用電動機の回転数制御は、一般的に、インバーター方式が用いられている。

【No. 13】 床面積の合計が100 m²を超える住宅の調理室に設置するガスコンロ（開放式燃焼器具）の廃ガス等を、換気扇等により排気する場合は必要有効換気量として、「建築基準法」上、正しいものはどれか。

ただし、排気フードは設けないものとする。

ここで、K：燃料の単位燃焼量当たりの理論廃ガス量 [m³/(kW・h)]

Q：火を使用する器具の実況に応じた燃料消費量 [kW]

- (1) 2 KQ [m³/h]
- (2) 20 KQ [m³/h]
- (3) 30 KQ [m³/h]
- (4) 40 KQ [m³/h]

【No. 14】 換気設備に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 第三種機械換気方式では、換気対象室内は負圧となる。
- (2) 火気使用室等で、室内の空気汚染の発生源が局所的に限定される場合には、局所換気が有効である。
- (3) 第二種機械換気方式では、換気対象室内は正圧となる。
- (4) 温度差を利用する自然換気方式では、換気対象室の高い位置に給気口を設ける。

【No. 15】 水道水の水質基準に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) pH値は、5.8以上8.6以下とされている。
- (2) 大腸菌は、1 mLの検水で形成される集落数が100以下であることとされている。
- (3) 臭気は、異常でないこととされている。
- (4) 色度は、5度以下であることとされている。

【No. 16】 下水道管きよの接合方法に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 水面接合は、管の中心を一致させて接合する方法である。
- (2) 管頂接合は、管の内面頂部の高さを合わせて接合する方法である。
- (3) 段差接合は、地表勾配に応じて適切な間隔でマンホールを設けて接合する方法である。
- (4) 管底接合は、管の内面底部の高さを合わせて接合する方法である。

【No. 17】 給水設備に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 受水タンクへの給水には、ウォーターハンマーを起こりにくくするため、一般的に、定水位調整弁が用いられる。
- (2) 水道直結増圧方式は、受水タンクを設ける必要がない。
- (3) 受水タンクは、保守点検及び清掃を考慮し、2槽分割等にする。
- (4) ホースを接続して使用する水栓には、逆サイホン防止のために逆止弁を設ける。

【No. 18】 給湯設備に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 中央給湯方式の配管方式は、上向き供給方式と下向き供給方式がある。
- (2) ヒートポンプ給湯機は、給湯機の排気ガスの潜熱を給湯の予熱として利用するものである。
- (3) 中央給湯方式の給湯配管の直管部には、湯温の変化による伸縮を吸収するため、伸縮継手等を設ける。
- (4) 中央給湯方式の給湯用循環ポンプは、一般的に、貯湯タンクへの返湯管に設ける。

【No. 19】 排水設備に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) オイル阻集器は、汚水中に含まれている動植物系の油脂類を除去するものである。
- (2) 阻集器にはトラップ機能を持つものが多く、器具にトラップを設けると二重トラップになるおそれがある。
- (3) トラップますは、臭気が逆流しない構造とする。
- (4) Uトラップは、排水配管の途中に設けるトラップである。

【No. 20】 排水設備に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 屋内からの排水管を屋外排水管に接続する場合は、排水ますを介して行う。
- (2) 排水横主管及び排水横枝管の起点部には、掃除口を設ける。
- (3) トラップの封水は、誘導サイホン作用、自己サイホン作用、蒸発、毛管現象等により破封する。
- (4) ドラムトラップは、サイホン式トラップの一種である。

【No. 21】 屋内消火栓設備に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 屋内消火栓箱の位置表示灯は、赤色でなくてもよい。
- (2) 屋内消火栓設備の非常電源は、蓄電池設備でもよい。
- (3) 屋内消火栓の開閉弁の位置は、自動式のものでない場合、床面からの高さを1.5 m以下とする。
- (4) 加圧送水装置は、直接操作によってのみ停止できるものとする。

【No. 22】 ガス設備に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 都市ガスの導管の敷設位置による区分としての「内管」とは、需要家に引き込まれる導管のうち、敷地境界線からガス栓までの導管をいう。
- (2) 液化石油ガス（LPG）のガス容器は、常に温度を40℃以下に保つ措置をとる。
- (3) 液化天然ガス（LNG）は、メタンを主成分とした天然ガスを冷却して液化したものである。
- (4) 液化天然ガス（LNG）は、液化石油ガス（LPG）より単位容積あたりの発熱量が大きい。

【No. 23】 浄化槽に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 浄化槽は、水洗便所のし尿や工場廃水等の汚水を処理する設備又は施設である。
- (2) 浄化槽の躯体は、FRP製、鉄筋コンクリート製等がある。
- (3) 処理工程の一次処理とは、主として沈降性の浮遊物質を除去することである。
- (4) 脱窒ろ床接触ばつ気方式では、BODと窒素を除去することができる。

※ 問題番号 No.24 から No.28 までの 5 問題は必須問題です。全問題を解答してください。

【No. 24】 飲料用給水タンクに関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 鋼板製一体形タンク内面の防錆処理は、エポキシ樹脂ライニング等を施す。
- (2) FRP 製タンクは、日光を遮断し、紫外線にも強い。
- (3) FRP 製パネルタンクには、FRP を表面材とし、合成樹脂発泡材を心材としたサンドイッチ構造のものがある。
- (4) 木製タンクは、金属製タンクに比べ熱伝導率が小さい。

【No. 25】 遠心ポンプに関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) ポンプの吐出し側の調整弁を絞ると抵抗が増加し、吐出し量は減少する。
- (2) 揚程は、ポンプの回転速度の 2 乗に比例して変化する。
- (3) ポンプ特性が同一のポンプを並列運転した場合、揚程は 2 倍になる。
- (4) 軸動力は、ポンプの回転速度の 3 乗に比例して変化する。

【No. 26】 配管材料及び配管付属品に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) ボールタップは、タンク等の自動給水・止水に使用する。
- (2) ボール弁は、流体を一方方向のみに流し、逆流を防止する弁である。
- (3) 銅管は、肉厚により K、L 及び M タイプに分類される。
- (4) ストレーナーは、配管内のゴミ等を取り除き、弁類や機器類の損傷を防ぐ。

【No. 27】 ダクト及びダクト付属品に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) たわみ継手は、ダクトと当該ダクトを接続する機器との位置合わせのために使用する。
- (2) コーナーボルト工法には、共板フランジ工法とスライドオンフランジ工法がある。
- (3) 防火ダンパーのケーシング及び羽根は、厚さ 1.5 mm 以上の鋼板製のものとする。
- (4) 防火ダンパーには、温度ヒューズ型ダンパーや煙感知器連動型ダンパー等がある。

【No. 28】 パッケージ形^{がたくうき}空気調和機^{ちようわき}の機器仕様^{ききしやう}として設計図書^{せつけいとしよ}に記載^{きざい}する項目^{こうもく}のうち、
適当^{てきとう}でないものはどれか。

- (1) 冷温水^{れいおんすい}出入口^{でいりぐち}温度^{おんど}
- (2) 屋外^{おくが}吸込^{いすいこみ}空気^{くうき}温度^{おんど}
- (3) 形式^{けいしき}
- (4) 屋内^{おくない}機用^{きよう}送風機^{そうふうき}の電動機^{でんどうき}容量^{ようりやう}

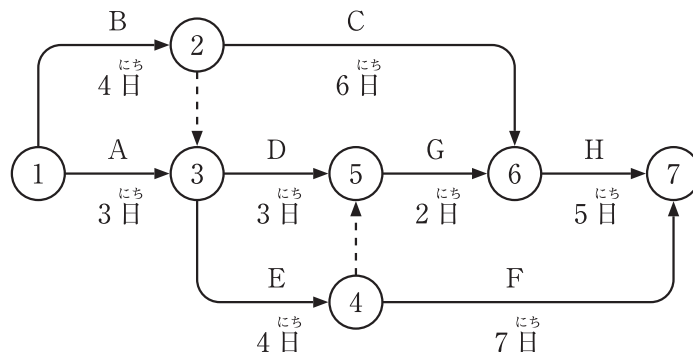
※ 問題番号 No.29 から No.38 までの 10 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

【No. 29】 建設工事における施工計画等に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 設計図書及び工事関係図書は、監督員の承諾を受けた場合を除き、工事の施工のために使用する以外の目的で第三者に使用させない。
- (2) 工事写真は、後日の目視検査が容易でない箇所のほか、設計図書で定められている箇所についても撮影しなければならない。
- (3) 標準仕様書と特記仕様書の内容に相違がある場合、標準仕様書を優先させる。
- (4) 仮設計画は、設計図書に定めがない場合、受注者の責任において定める。

【No. 30】 下図に示すネットワーク工程表に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

ただし、図中のイベント間のA～Hは作業内容、日数は作業日数を表す。



- (1) クリティカルパスは3本で、全体の所要日数は15日である。
- (2) 作業Hの作業日数を1日短縮できると、全体の所要日数も1日短縮することができる。
- (3) 作業Dが開始される前に、作業Aと作業Bは終了していなければならない。
- (4) ②-③間や④-⑤間のような作業の相互関係だけを示す点線矢印をダミーという。

【No. 31】 施工の品質を確認するための検査に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 防火区画貫通箇所の穴埋めの確認は、抜取検査とする。
- (2) 排水用水中モーターポンプのレベルスイッチの信号による発停の確認は、全数検査とする。
- (3) 給水管の水圧試験による確認は、全数検査とする。
- (4) 防火ダンパーの温度ヒューズの作動の確認は、抜取検査とする。

【No. 32】 建設工事における安全管理に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 折りたたみ式の脚立は、脚と水平面との角度を確実に保つための金具等を備えたものとする。
- (2) 移動式クレーンに係る作業の実施について、強風のため危険が予想されるときは、当該作業を中止する。
- (3) 建設業における労働災害は、長期的には減少傾向にあるものの、死亡者数の割合は全産業の約3割を占める。
- (4) 脚立の脚と水平面との角度は、80度以下とする。

【No. 33】 機器の据付けに関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 送風機やポンプの屋内コンクリート基礎をあと施工する場合、つなぎ鉄筋等で床スラブと一体化する。
- (2) 送風機とモーターのプーリーの心出しは、プーリーの外側に定規、水糸等を当て調整する。
- (3) ポンプとモーターの軸心の確認は、カップリングの外周に定規等を当てて行う。
- (4) 排水用水中モーターポンプの据付位置は、排水槽への排水の流入部に近い場所とする。

【No. 34】 配管及び配管附属品の施工に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 受水タンクの吐水側配管に設ける緊急遮断弁は、地震時の水の確保に有効である。
- (2) 敷地排水管的合流箇所、曲がる箇所等には、排水ますを設ける。
- (3) 給水横走り管より下方に供給する分岐管は、配管上部から取り出す。
- (4) 排水横枝管の管径が75 mmの場合、大便器の接続は、2個までとする。

【No. 35】 ダクト及びダクト附属品の施工に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) ダクトの断面を变形させ縮小するときの傾斜角度は、30度以下とする。
- (2) 外気取り入れチャンバーに設置する点検口は、外開きとする。
- (3) フレキシブルダクトは、振動伝播防止のために使用する。
- (4) 厨房の排気ダクトには、ダクト内の点検ができるように点検口等を設ける。

【No. 36】 塗装に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 配管用炭素鋼鋼管（白）に塗装する場合、下塗り塗装は不要である。
- (2) 配管用炭素鋼鋼管（黒）は、下塗り塗料として、一般的に、さび止めペイントが使用される。
- (3) 塗装場所の相対湿度が85%以上の場合、原則として、塗装を行わない。
- (4) 塗装場所の気温が5℃以下の場合、原則として、塗装を行わない。

【No. 37】 渦巻ポンプの試運転における一般的な実施順序として、**適当なもの**はどれか。

- A：機器および配管系のエア抜きを行い、満水状態にする。
- B：吐出し側弁を全開にする。
- C：吐出し側弁を全閉にする。
- D：瞬時運転し、回転方向を確認する。
- E：キャビテーション、サージ現象のないことを確認する。
- F：連続運転を行い、吐出し側弁を徐々に閉じて規定水量に調整する。
- G：連続運転を行い、吐出し側弁を徐々に開いて規定水量に調整する。

- (1) A → B → D → E → F
- (2) A → B → D → F → E
- (3) A → C → D → E → G
- (4) A → C → D → G → E

【No. 38】 風量調整に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) ダクト内の風量測定は、一般的に、多点風速測定法で行う。
- (2) ダクト系の風量調整は、吹出口・吸込口のシャッター、分岐部等の風量調整ダンパーを全閉にしてから行う。
- (3) シーリングディフューザーは、吹出気流の拡散が大きいため、一般的に、フード付の風量計を用いて測定する。
- (4) 風量測定に使用する風速計は、熱線風速計、ピトー管等を用いる。

※ 問題番号 No.39 から No.48 までの 10 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

【No. 39】 建設工事現場における作業のうち、「労働安全衛生法」上、作業主任者を選任すべき作業に該当しないものはどれか。

- (1) ボイラー（小型ボイラーを除く。）の取扱いの作業
- (2) 掘削面の高さが 1 m の地山の掘削（ずい道及びたて坑以外の坑の掘削を除く。）作業
- (3) 土止め支保工の切りばり又は腹起こしの取付け又は取り外しの作業
- (4) 石綿が 0.5 % 含まれる保温材の除去作業

【No. 40】 労働契約の締結に際し、「労働基準法」上、使用者が労働者に対して明示しなければならない労働条件として、定められていないものはどれか。

- (1) 賃金に関する事項
- (2) 労働時間に関する事項
- (3) 福利厚生施設の利用に関する事項
- (4) 退職に関する事項

【No. 41】 建築物に関する記述のうち、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

- (1) 建築しようとする場合に建築の確認の申請が必要な建築物について、大規模の模様替えをしようとする場合は、確認の申請が必要である。
- (2) 建築しようとする場合に建築の確認の申請を必要としない建築物であれば、建築基準法は適用されない。
- (3) 建築の確認の申請が必要な建築物を建築する工事は、確認済証の交付を受けた後でなければ工事をすることはできない。
- (4) 建築の確認の申請が必要な建築物を建築する工事の施工者は、当該工事に係る設計図書を当該工事現場に備えておかなければならない。

【No. 42】 つぎ けんちく きじゆんほう じょう けんちくぶつ もう ちゅうおうかんり ほうしき くう き ちょう わせつび せい のう
次のうち、「建築基準法」上、建築物に設ける中央管理方式の空気調和設備の性能と
して、居室における基準が、定められていないものはどれか。

- (1) ぜったいしつど 絶対湿度
- (2) いっさん かたん そ がんゆうりつ 一酸化炭素の含有率
- (3) ふ ゆうふん りょう 浮遊粉じんの量
- (4) きりゅう 気流

【No. 43】 うけおいけいやくしょ きざい じこう かん きじゆつ けんせつぎょうほう じょう
請負契約書に記載しなければならない事項に関する記述のうち、「建設業法」上、
定められていないものはどれか。

- (1) こうじないよう 工事内容
- (2) うけおだいきん がく 請負代金の額
- (3) てんさい た ふ か こうりよく こうき へんこうまた ぞんがい ふ たんおよ がく さんていほうほう かん さだめ
天災その他不可抗力による工期の変更又は損害の負担及びその額の算定方法に関する定め
- (4) したうけけいやく おこな ぼあい したうけおいにん めいしょう
下請契約を行う場合の下請負人の名称

【No. 44】 けんせつぎょう きよ か う けんせつぎょうしゃ こうじげんば お しゆにんぎじゆつしゃ かん きじゆつ
建設業の許可を受けた建設業者が、工事現場に置く主任技術者に関する記述のうち、
「建設業法」上、誤っているものはどれか。

- (1) しゆにんぎじゆつしゃ とうがいけんせつこうじ せこうけいかく さくせい こうていかんり ひんしつかんり た ぎじゆつじょう かん
主任技術者は、当該建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管
理及び当該建設工事の施工に従事する者の技術上の指導監督の職務を誠実に
おこな 行わなければならぬ。
ばならない。
- (2) こうじげんば けんせつこうじ せこう じゅうじ もの しゆにんぎじゆつしゃ しょくむ おこな しどう
工事現場における建設工事の施工に従事する者は、主任技術者がその職務として行
う指導
したが
に従わなければならない。
- (3) いっきゅうけんちくしめんきよ こうふ う もの かんこうじ こうじげんば お しゆにんぎじゆつしゃ ようけん がいとう
一級建築士免許の交付を受けた者は、管工事の工事現場に置く主任技術者の要件に該
当する。
- (4) きゅうかんこうじ せこうかんり ぎじゆつけんてい だいに じけんてい こうかく もの かんこうじ こうじげんば お しゆにんぎ
2級管工事施工管理技術検定の第二次検定に合格した者は、管工事の工事現場に置く主任技
術者の要件に該当する。

【No. 45】 屋内消火栓設備に関する文中、内に当てはまる数値として、「消防法」上、正しいものはどれか。

易操作性1号消火栓の消防用ホースの長さは、当該易操作性1号消火栓のホース接続口からの水平距離がmの範囲内の当該階の各部分に有効に放水することができる長さとする。

- (1) 15
- (2) 20
- (3) 25
- (4) 30

【No. 46】 騒音の規制に関する記述のうち、「騒音規制法」上、誤っているものはどれか。

- (1) 特定建設作業とは、建設業法の規定による特定建設業の許可を受けた業者が行う作業をいう。
- (2) 指定地域内における特定建設作業の実施の届出の事項には、騒音の防止の方法が含まれる。
- (3) 指定地域内では、特定工場等において発生する騒音及び特定建設作業に伴って発生する騒音について規制される。
- (4) 指定地域内に特定工場等を設置している者は、当該特定工場等に係る規制基準を遵守しなければならない。

【No. 47】 浄化槽に関する記述のうち、「浄化槽法」上、誤っているものはどれか。

- (1) 浄化槽工事業を営もうとする者は、当該業を行おうとする区域を管轄する都道府県知事の登録を受けなければならない。
- (2) 浄化槽工事を行うときは、1級又は2級管工事施工管理技士が、自ら工事を行うか、実地に監督しなければならない。
- (3) 浄化槽工事業者は、浄化槽工事の現場ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号等を記載した標識を掲げなければならない。
- (4) 浄化槽を新たに設置する場合、使用開始後3か月を経過した日から5か月間の期間内に、指定検査機関の行う水質に関する検査を受けなければならない。

【No. 48】 廃棄物に関する記述のうち、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、
誤っているものはどれか。

- (1) 建設工事の現場事務所から排出される生ごみ、新聞、雑誌等は、一般廃棄物である。
- (2) 事業活動に伴って生じた廃棄物で、金属くずは、産業廃棄物である。
- (3) 事業者は、産業廃棄物管理票を、産業廃棄物の種類ごとにせず、一括して交付することができる。
- (4) 産業廃棄物管理票の交付者は、処分受諾者から、最終処分が終了した旨等を記載した産業廃棄物管理票の写しの送付を受けたときは、当該管理票の写しを、当該送付を受けた日から5年間保存しなければならない。

※ 問題番号 No.49 から No.52 までの問題の正解は、1 間について二つです。

当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を二つぬりつぶしてください。

1 間について、一つだけぬりつぶしたのや、三つ以上ぬりつぶしたものは、正解となりません。

※ 問題番号 No.49 から No.52 までの 4 問題は必須問題です。全問題を解答してください。

【No. 49】 工程表に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

適当でないものは二つあるので、二つとも答えなさい。

- (1) 工程表作成時に考慮すべき事項としては、土日祝祭日の作業制限、試運転調整の期間等がある。
- (2) バーチャート工程表は、ネットワーク工程表に比べて各作業の順序関係が明確である。
- (3) ネットワーク工程表は、工事途中での計画変更に対処しやすい。
- (4) ガントチャート工程表は、全体進行度の把握に適している。

【No. 50】 機器の据付けに関する記述のうち、適当でないものはどれか。

適当でないものは二つあるので、二つとも答えなさい。

- (1) アンカーボルトは、機器据付け後、頂部からねじ山が出ない長さとする。
- (2) 呼び番号 3 の遠心送風機を天吊りする場合、形鋼を溶接棒組みした架台上に据え付け、架台は上部スラブ鉄筋に緊結されたアンカーボルトで固定する。
- (3) 冷却塔の補給水口の高さは、補給水タンクの低水位から 3 m 以上低くなるように据え付ける。
- (4) 遠心送風機のコンクリート基礎の高さは、100 mm 程度とする。

【No. 51】 配管の施工に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

適当でないものは二つあるので、二つとも答えなさい。

- (1) ポリエチレン管の接合には、メカニカル接合や電気融着接合がある。
- (2) 雨水ますには、ます内に排水や固形物が滞留しないようにインバートを設ける。
- (3) 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管は、ねじ接合とする。
- (4) 鋼管のねじ加工には、切削ねじ加工と転造ねじ加工がある。

【No. 52】ダクト及びダクト附属品の施工に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**
適当でないものは二つあるので、二つとも答えなさい。

- (1) 共板フランジ工法ダクトの接続は、フランジ押さえ金具のみで行い、ボルト・ナットを使用しない。
- (2) 長方形ダクトの断面のアスペクト比（長辺と短辺の比）は、原則として、4以下とする。
- (3) 長方形ダクトの板厚は、ダクトの周長により決定する。
- (4) 隠ぺい部に防火ダンパーを設置する場合には、450 mm × 450 mm以上の点検口を設ける。